

第27回 全国街路事業コンクール

優 秀 賞

沖縄県土木建築部

国際通り線シンボルロード整備事業

都 市 名	沖縄県那覇市	事業主体	沖縄県
事業概要	<p>国際通り線は、那覇市の商業、行政、文化の中心地を通るシンボルロードであり、全長約1.6kmの都市計画道路である。当該路線は、観光ルートとして重要な役割を担っているが、歩道部に電柱等が煩雑化して景観的に劣り、歩道幅員も狭隘であったため、地域住民や観光客から県都のシンボルとして相応しい、安全で快適な街路空間の整備が求められていた。本事業では、茂地～安里間の1600mの事業区間において、電線類の地中化や歩道拡幅、車道と歩道の段差をなくしたバリアフリー化整備、ポケットパーク等を整備することで歩行者の安全・安心が確保されるなどの事業効果が発揮された。また、国際通りでは、毎週日曜日の12時から18時の間「トランジットモール」を開催し、県庁北口交差点から蔡温橋交差点までの延長1.24kmを歩行者に開放することで、観光客による賑わいや街の活性化につながった。</p> <p>○事業延長：約1.6km ○事業費：約80億円</p> <p>○幅員：18m ○事業期間：平成11年度～平成25年度</p>		
表彰理由	<p>本事業により、歩行空間の安全性や快適性が向上されるとともに、歩道と一体となったポケットパークを整備することで、憩いの場や賑わいを創出する空間を確保し、中心市街地の活性化につながったことが高い評価を得た。また、当初は沿道商店から反対意見もあった「トランジットモール」についても、実証実験を何度も実施することで地域の合意形成を図り、豊かで活気ある観光地としての賑わいを生み出したことも高く評価された。</p>		



事業前